

静岡地域中心市街地来街者調査概要

調査日時 2019年11月24日(日)10:00~17:00

調査地点 全10地点

- ◆ 駅ビル パルシェ前 ◆ 静岡東急スクエア前 ◆ 呉服町商店街 (SANADAYA[真田屋]前)
- ◆ 静岡伊勢丹前 ◆ 静岡パルコ前 ◆ 七間町商店街
- ◆ 松坂屋静岡店前 ◆ 新静岡セノバ前
- ◆ 静岡マルイ・モディ前 ◆ 紺屋町商店街(クーポール会館前) (静岡北ワシントンホテルプラザ前)

調査方法 来街者に対する面接アンケート方式

回答者数 600人(各地点60人) 男性 37.5% 女性 62.5%
市内 70.0% 市外 30.0%

住所別区分

住所地		割合(%)
静岡市	葵区	36.7
	駿河区	22.8
	清水区	10.5
焼津・藤枝・島田・富士市		16.2
その他県内外		13.8

街へ来る交通手段は？

市内からは「バス」、市外からは「JR東海」が最多

来街の主な交通手段は、全体では「自動車」が最も多く、次に「JR東海」となり、前年度同様であった。

回答者の住所を市内・市外別にみると、市内からは「バス」「徒歩」「自動車」の順で、市外からは「JR東海」「自動車」「バス」の順で利用が多かった。(表1)

順位	1位	割合(%)	2位	割合(%)	3位	割合(%)
全体	自動車	24.5	JR東海	24.2	バス	17.2
市内	バス	23.6	徒歩	19.8	自動車	18.8
市外	JR東海	58.9	自動車	37.8	バス	2.1

街へ来る頻度は？

全体では「月1~2回」が最多

静岡の中心市街地への割合で来るか尋ねたところ、全体では「月1~2回」と「週1~2回」で約6割を占めた。

順位	1位	割合(%)	2位	割合(%)	3位	割合(%)
全体	月1~2回	33.2	週1~2回	27.7	ほぼ毎日	18.5
市内	週1~2回	36.9	月1~2回	31.0	ほぼ毎日	24.3
市外	月1~2回	38.4	2~3ヶ月に1回	28.3	ほとんど来ない	16.1

来街場所・目的地は？

回答者の住所を市内・市外別にみると、市内では「週1~2回」と「月1~2回」、市外では「月1~2回」と「2~3ヶ月に1回」で6割強を占めた。(表2)

商店街では「呉服町商店街」、大型店では「新静岡セノバ」が最多

来街者の目的地(複数回答)は、商店街では例年同様「呉服町商店街」が最も多く、次に「七間町商店街」「紺屋町商店街」の順であった。

区分	割合(%)	区分	割合(%)	区分	割合(%)			
商店街	呉服町商店街	16.3	大型店	新静岡セノバ	48.2	施設等	公園	5.2
	七間町商店街	7.3		静岡パルコ	25.0		文化施設	3.3
	紺屋町商店街	4.5		駅ビル パルシェ	22.8		病院	0.5
	御幸町商店街	2.2		静岡伊勢丹	19.8		その他	4.2
				松坂屋静岡店	14.3			
				静岡東急スクエア	6.7			
				静岡マルイ・モディ	6.5			
				アスティ静岡	4.0			

中心市街地を訪れる目的は？

全体の約7割が「買物」買物の内容は約4割が「衣料品」

来街の目的は「買物」が最も多く、次に「飲食」「散策」「イベント」「映画」「その他」の順であった。「その他」の内容は、仕事、勉強、習い事などであった。(表4)

来街の目的が「買物」と回答した人に、その内容(購入品目)を尋ねたところ「衣料品」が約4割で最も多く、以下「食料品」「書籍・文具」「化粧品・医薬品」の順であった。(表5)

買物・飲食の予算額 (表6)

予算額	割合(%)
3千円未満	35.5
3千円～5千円未満	24.2
5千円～1万円未満	21.0
1万円～2万円未満	12.2
2万円～3万円未満	4.1
3万円～5万円未満	1.5
5万円～10万円未満	1.0
10万円以上	0.5

買物・飲食での予算額は「3千円未満」が平成21年度以降引き続き最も多く、次に「3千円～5千円未満」「5千円～1万円未満」の順で1万円未満が80.7%を占めている。(表6)

なお、回答者を年代別にみると、10代から70代以上までの各年代とも「3千円未満」が最も多かった。

**「1万円未満」が8割以上
買物・飲食での予算は？**

買物の内容 (表5)

順位	購入品目	割合(%)
1	衣料品	42.0
2	食料品	30.4
3	書籍・文具	14.7
4	化粧品・医薬品	12.9
5	家庭用品	7.8
	カバン・履物	7.8

来街目的 (表4)

順位	内容	割合(%)
1	買物	65.8
2	飲食	30.2
3	散策	11.7
4	イベント	11.5
5	映画	4.8
—	その他	4.5

中心市街地でのお買物やサービスの機能については「満足」と「やや満足」が合わせて59.5%と約6割を占め、「不満」と「やや不満」が合わせて5.3%にとどまった。(表8)

満足(やや満足)している点は「品揃え(やや満足)している点は」

満足(「満足」+「やや満足」)が約6割

**中心市街地での
お買物・サービスの
機能については？**

滞在時間 (表7)

区分	割合(%)
1時間未満	6.5
1時間～2時間未満	20.5
2時間～3時間未満	34.7
3時間～5時間未満	26.8
5時間～7時間未満	7.2
7時間以上	4.3

中心市街地での滞在時間は「2時間～3時間未満」が34.7%で平成18年度以降引き続き最も多く、以下「3時間～5時間未満」26.8%、「1時間～2時間未満」20.5%の順となっている。また、合わせて約6割が3時間未満となった。(表7)

**中心市街地での
滞在時間は？**

不満(やや不満)な点 (表10)

順位	内容	割合(%)
1	品揃え	53.1
2	接客・サービス	31.3
3	商品のオリジナル性	18.8
4	気軽にお店に入れる雰囲気	12.5
—	その他	9.4

満足(やや満足)している点 (表9)

順位	内容	割合(%)
1	品揃え	53.2
2	接客・サービス	32.2
3	気軽にお店に入れる雰囲気	18.2
4	催事・イベントの内容	10.9
5	歩行者天国	10.6
6	品質・鮮度	9.8

お買物・サービスの満足度 (表8)

区分	割合(%)
満足	24.5
やや満足	35.0
どちらでもない	35.2
やや不満	4.8
不満	0.5

「接客・サービス」32.2%、「気軽に」18.2%の順であった。(表9)

一方、不満(やや不満)な点は「品揃え」が53.2%で最も多く、次に「接客・サービス」32.2%、「気軽に」18.2%の順であった。(表10)

増加したキャッシュレス決済の種類を尋ねたところ「クレジットカード」が57.6%で最も多く、次に「電子マネー」55.9%、「QRコード決済」26.5%の順であった。(表12)

増加したキャッシュレス決済の種類 (表12)

内容	割合(%)
クレジットカード	57.6
電子マネー	55.9
QRコード決済	26.5

「クレジットカード」及び「電子マネー」が5割強

**増加したキャッシュレス
決済の種類は？**

キャッシュレス決済利用の変化 (表11)

区分	割合(%)
変化なし	70.9
増加した	28.3
減少した	0.8

男女別でも最も多く、また、年代別でも各年代で第1位となっている。

なお、「変化なし」は、回答者を消費増税後のキャッシュレス決済利用の変化を尋ねたところ「変化なし」が70.9%で最も多く、次に「増加した」「減少した」の順であった。(表11)

**消費増税後の
キャッシュレス決済利用
の変化は？**

「変化なし」が約7割